

つばきの

第32号

平成三十一年三月二十日発行
松山中央高校家庭クラブ

「家庭科」とは……

校長 上田 敏博

皆さん、「家庭科」って一体どういう教科だと思いますか？ 国語や数学、英語とは異なりますね。先生と同世代の男性は、小学校5年、6年の2年間しか家庭科を習いませんでした。調理実習も、ほうれん草のソテーと、ポテトサラダしか作ったことがありません。

一人暮らしを始めた頃のことです。みそ汁はいつも、生みそ仕立てのインスタントを飲んでいました。そこで、ふと思いつき、自分で作ってみることにしました。鍋を買い、お湯を沸かしてわかめと豆腐を入れ、味噌を溶き、ネギを刻んで入れました。「よし、出来た」と思い、いざ飲んでみたのですが、このみそ汁の何とマズイことか。インターネットのなかった時代です。何回か試してみただけで、結局あきらめてインスタントにもどしてしまいました。

皆さんは、どこがダメだったか分かりますか？ そうです、だしを取ってなかったことが原因です。日本人なのに、そんなことも分からなかったのです。

でも、今では高校生まで、男女とも必須教科になっています。だから、皆さんの中には、先生のような失敗をする人は一人もいないでしょう。このことは、非常に大切なことだと思います。

実は「家庭科」は、調理方法や裁縫など、単なる家事の常識を習う教科ではなくなっています。「総合サイエンス」とでも呼べる、れっきとした学問なのです。理科的な内容はもちろん、経済学や心理学、今では介護に関する医学や保健学まで含んでいる教科です。「実践的総合科学」と呼んでよいかもしれません。

しかも、こうした家庭科は、平和で安定した社会でなければ大切にされません。なぜなら、富みや名声に直接関係がないからです。文化の成熟度を判定するバロメーターかもしれません。実際に「家庭科」が、高校まで男女共通で必須教科となっている国は珍しいようです。私としては、やっと日本もここまで来たかという感慨を持っています。

皆さんも、「家庭科」という学問を、

他の教科の知恵を総動員して考える、科学的実践学問として捉え直してみませんか？ そうすれば、自分の毎日の生活を、別の角度から見つめ直すことになり、自立の一助になるかもしれませんね。



一年間家庭クラブ活動を行って

会長 二〇五 濱口 陽世

今年も家庭クラブでは、たくさんの方の活動を行いました。児童クラブ、乳児院、和光苑への訪問、スイーツ講習会、バルーンアート講習会などを行いました。皆さんが参加してくださったおかげで、実施することができました。ありがとうございました。

私が家庭クラブ会長になるきっかけは、昨年度までいらっしやった近藤先生です。先生に誘われ、やってみようと思いい会長になりました。会長になってから、私は思った以上の仕事量に戸惑ってしまいました。他校へ行ったり、県外に出たりと忙しい時期もあり、どうしてもいろいろの、何を言えはいいのだろうかかと悩むことも多くありました。しかし少しずつ慣れてきて、こうすればいいかもとか、こうするかもしれないと予想して動けるようになりました。大変だし、しんどいし、やめてしまいたいなどと思

った時期もありましたが、これまでしっかりと続けることで良い経験ができ、自分自身の成長につなげることができたと思うので良かったと思っています。今日まで会長として続けられたのは支えてくださった先生や友人のおかげだと思っています。この感謝の気持ちを返すつもりで、三年生になっても家庭クラブ活動に参加していきたいです。

役員紹介



後列右から

会計 叶 彩乃
会計 川上 琳礼
監査 木村 豪留
監査 長岡 数馬

前列右から

副会長 高野 芽衣
副会長 中川 舞
会長 濱口 陽世
書記 三好きらら



活動紹介

☆和光苑との交流活動☆

マスコット作り

二〇六 高野 芽衣

私は、今回は役員としてマスコット製作に参加しました。昨年は全て用意された状態でマスコットを作りましたが、今年は何も用意されていない状態でデザインから考えました。実際に昨年作ったことを思い出して、作りやすいシンプルなもの、かつイノシシだと分かりやすいデザインにしました。

生徒の皆さんが協力して作ってくれたマスコットを和光苑に持っていき、お年寄りの方に「ありがとー」や「かわいー」と言っていたいて、作ってよかったなと思いました。また、和光苑の方が、過去のマスコットを大切に飾っているのを見て、これからもマスコット作りを続けていってほしいと思いました。

今回、実際に和光苑にマスコットを持って行つて、お年寄りの方が喜んでくださっているのを見て、これまで以上に積極的にボランティア活動に参加していききたいと思いました。



☆交流会☆

松山豊学校との交流

二〇五 中川 舞

松山豊学校の皆さんと交流して、普通の生活では学べないようなことをたくさん学ぶことができました。

豊学校の皆さんとは、かたや歌、お話をしました。私にとって手話は身近なものではないので、慣れていなくて最初は不安でうまく交流できるのかと思いました。しかし、豊学校の生徒や先生方はとても親切にしてくださって、頑張つて声で伝えようとしてくれて、勇気ももらいました。班に分かれてお話をすると、ときにはできる限りホワイトボードを使わずに会話をするように努力しました。豊学校の生徒は、完全に耳の聞こえない生徒から、軽度で少しは聞こえる生徒まで様々です。私たちと会話をするときも、ほとんど聞こえていない人を聞こえる人が助けてあげるところを見て、豊学校の生徒は私たちよりも普段から助け合つて生活しているのだと感じました。当たり前のように手話で話をしているのを見ましたが、スムーズに会話ができるようになるまで、多くの努力をしたのだと思います。

「普通の人とは違う」や「普通でない」



と体に不自由のある人に心無いことを言う人も少なくないと思いますが、体の不自由な方にとっては「今」の生活が「普通」です。「普通」とは何かについて考える機会になりました。人権について考え、学ぶことができた一日でした。

三校交流会

二〇六 三好 きょうり

三校交流会は松山中央高校・松山南高校・松山工業高校の三校で行っています。今年は松山中央高校が当番校で、交流会のクッキングのメニューは、季節を取り入れて、「モンブラン風 栗のロールケーキ」にしました。初めはみんな緊張していましたが、他校の人と三人組でクッキングをすることで、次第にコミュニケーションがとれ、ケーキが完成するころには打ち解けていました。一緒に作ったケーキを食べながら、各校の活動についても知ることができました。各校の活動には、そのような活動も行っているのだと驚くことがたくさんあって、とても充実した交流会になりました。今回の交流会を通して、これからの家庭クラブ活動をよりよいものにしていきたいと思いました。



☆講習会☆

クリスマススイーツ講習会に

参加して
一〇五 森山 佳奈代

私は、クリスマススイーツの講習会に参加して、チョコレートのブツシュ・ド・ノエルをつくりました。

最初は材料を混ぜたりしました。あまりお菓子作りをしたことがない私は、とても不安でしたが、家庭クラブの先輩がやり方を教えてくれました。次に、天板に流して焼きました。とにかく先輩の手際が良くてびっくりしました。私もあんな風になりたいと思いました。最後に生地を巻いて、飾りつけをしました。最後に生地が薄かったので、巻くのが難しかったです。何となくきれいに巻くことができました。イチゴで作ったサンタさんでデコレーションをして、かわいく仕上げることができて、とても楽しかったです。みんなと作ることはめったにないので、とても楽しかったし、あまり話したことのない友達と話せたこともうれしかったです。今度は家でも作りたいと思います。



バレンタインスイーツ講習会を 受講して

一〇六 堀内 菜名

私はお菓子作りに興味があったものの、家では作る機会がなく、講習会でお菓子作りのスキルを磨こうと思って参加しました。

バレンタインということで、ガトーショコラを作りました。ガトーショコラは、手順は簡単ですが、一つ一つのポイントが非常に大切で奥が深いと感じました。特に焼く工程では、焼く目安時間を超えても中心が焼けていない状態で、見た目だけでは判断できないこともありました。

また、ガトーショコラを作る際に、クラスメイトや他クラス、他学年の方々と交流を深めることができました。講習を受けてお菓子作りに一段と興味を持ち、家で家族のためにスコーンやアップルパイなどを作ってプレゼントしました。今後も講習会に積極的に参加して、もっとお菓子作りの知識を深めていきたいです。

バレンタインスイーツの講習を 受けて

一〇二 秋長 沙弥

私はバレンタインスイーツ講習会に参加して良かったなと思います。その理由は二つあります。一つ目は、参加を通して参加者と仲良くなれたことです。作る過程や食べるときに話す機会がたくさんあり、他クラスの人もとても楽しく過ごせたので、時間が過ぎるのが早く感じました。二つ目は、作り方を知らなかつ

たガトーショコラの作り方が分かったことです。今まで作る機会がなく、難しそうだと思っていたけど、混ぜるだけで簡単にできたので、びっくりしました。講習を受けてレシピを知ったので、この経験を生かして、家でも作ってみたいと思います。また、とてもおいしかったので、次のバレンタインの時などに作って友達や家族に食べしてほしいなと思いました。次の講習会も友達を誘って参加したいと思います。

バレンタインスイーツ講習会に 参加して

一〇一 渡邊 麻衣

私は中央高校の料理講習会に初めて参加しました。四・五人の班に分かれてガトーショコラを作りました。参加してみてもいい体験だったなと思います。お菓子作りは普段の料理とは違う点もたくさんあるので、最初は難しかったなと思っていました。でも講習会で一つ一つ手順を踏むことで、お菓子作りの基本を学ぶことができました。また、他クラスや他学年の人と一緒に作ることで普段はできない交流もできました。多くの人が参加していて、私の班にも二年生の初対面の先輩がいましたが、すぐに打ち解けることができました。作る時間は短かったし、とても簡単に作ることができました。いろんな人と交流しながら作るの、とても楽しかったです。

私は今回が初めての参加でしたが、来年度も参加したいと思います。まだ参加したことがない人も来年度はぜひ参加してみてください。たくさんさんの良い経験ができると思います。

☆石井児童クラブ訪問☆

ボランティアを通して

一〇三 水口 飛鳥

私は夏休みを利用して、石井児童クラブのボランティアに参加しました。石井児童クラブは、私も小学生の頃にお世話になっていた、当時の先生方が何人かいらつしやつたので、久しぶりに会う先生方に懐かしさを感じながらの活動になりました。

小学一年生から三年生までの子供たちと一緒に遊んだり、勉強したりと子供たちに寄り添った活動でした。このような活動は普段の生活ではあまりできないことなので、とても良い経験となりました。しかし、子供たちとのコミュニケーションをどのようにとればよいか分からず、初めは探り探り様子をうかがっていました。でも、子供たちの方から私に声をかけてくれました。逆に一人にいる子には私から声をかけるようにしてコミュニケーションをはかりました。年齢は離れてはいましたが、子供たちと意思の疎通をはかり、楽しく良い活動ができました。



☆中央祭での活動☆

ブルーインアート講習会に 参加して

一〇五 長岡 数馬

私はブルーインアート講習会に委員として参加して、初めての経験をする事ができました。そもそもブルーインアートをすることがなかった私は、正直誰かに教えられるほど上達するののか心配でした。家庭クラブ委員で練習をした時に、先生に丁寧に教えていただき、初めての経験に難しさを感じました。ブルーインアートは風船をねじることが多いため、力を入れすぎたり、風船に空気を入れすぎて何度か割ってしまいました。そのため教室では至る所で風船の割れる音が響き渡っていました。しかし、何度も練習するうちに上手になっていき、練習後には一人で風船で犬を作れるようになっていました。その時はとてもうれしくて上達しているのを実感しました。

そして、中央祭の当日、私の担当の時間になったとき、緊張しつつも、丁寧に教えることができました。相手の人も明るく接してくれて、楽しく作ることができ、完成したときには一緒に喜びを分かち合うことができました。家庭クラブ委員として一生懸命活動することができ、やりがいのある活動でした。

楽しいブルーインアート

一〇三 川上 琳礼

初めての中央祭、初めてのブルーインアート講習会でした。最初にブルーインアートを練習をしました。最初に作ったときは、分からないことだらけでした。

	日	活 動 内 容
4	上旬 中旬	役員会 家庭クラブガイダンス
5	4～13 19 25	家庭クラブ週間① 乳児院訪問① 乳児院訪問②
6	14 16	中予支部総会 ～東温高校にて～ 乳児院訪問③
7	15 19 20 23～31 28 31	乳児院訪問④ 松山聾学校訪問 家庭クラブ便り①編集・発行 石井児童クラブ半日ボランティア 乳児院訪問⑤ 四国ブロック高等学校家庭クラブ 研究発表大会 ～高松～
8	上旬 2・3・4 9 25	ホームプロジェクト実施 乳児院訪問⑥⑦⑧ 愛媛県高等学校家庭クラブ研究 発表大会 ～松山～ 乳児院訪問⑨
9	6 9 16 27	運動会受付接待 乳児院訪問⑩ 乳児院訪問⑪ 中央祭 料理講習会(エンジョイクッキング) バルーンアート講習会、家庭クラブ活動報告
10	14	乳児院訪問⑫
11	上旬 17 中旬～	愛媛県ホームプロジェクトコンクール応募 乳児院訪問⑬ 干支のマスコット製作の準備
12	4 中旬 20 27	クリスマススイーツ講習会 干支のマスコット製作・年賀状制作 家庭クラブ便り②編集・発行 老人ホーム「和光苑」訪問
1	下旬 21～30	新聞「つばき」の編集開始 家庭クラブ週間②
2	12 下旬	バレンタインスイーツ講習会 新聞「つばき」の編集
3	11・13 20 25	料理講習会（2年生対象） 新聞「つばき」の32号発行 テーブルマナー講習会
年間の活動		朝清掃（1クラス1週間） 家庭クラブ委員会・役員会 書き損じハガキ・古切手・使用済み テレホンカード、プリンタインカートリッジの収集

風船がしぼんでしまったり、割れてしまったりしたけど、友達や先生のおかげで、何とか作れるようになりました。本番では、保護者・生徒・先生などたくさんの人が来て、バルーンアートを楽しんでくださって良かったです。花を作ったり、大を作ったり、家庭クラブ委員のみんなと助け合ってかわいく作れたと思うので良かったです。クラスの出し物との両立もできたので、中央祭とても楽しむことができました。みなさん、ありがとうございました。

エンジョイクッキングを通して 一〇八 藤堂 咲弥

僕は友達に誘われて、初めてエンジョイクッキングに参加しました。今まで料理をしたことはあったけど、スイーツ作りは初めてだったので、作るのが楽しかったです。しかし、生地作りでは、卵の黄

身と白身を卵の殻を使って分けたり、白身を泡立てたりと、初めての経験に苦戦しました。でも、講師の先生や河原学園の学生の人たちに、分りやすく教えていただきました。うまくできたりは達成感がありました。しまり出した袋を使っ、できた生地を絞っていく作業では、線が太かったり細かったりしてうまくできなかったので、スイーツを作る人はすごいと思いました。それでも、味はとてもおいしく作る事ができました。

今回のエンジョイクッキングで、試行錯誤しながらも友達と協力して楽しく作ることができ、完成した時の達成感を味わうこともでき、良い思い出を作ることができたと思います。時間のある時は、家でまたケーキを作ってみようと思います。



☆松山乳児院訪問☆

乳児院でのボランティア

二〇二一 吉井 観都

乳児院に行くのは初めてで、0～1歳の小さな子のお世話をするのもあまりないのですが、とても良い経験になりました。一番初めに「ご飯を食べさせてあげるときは、とても緊張しました。どのようになければ良いか分からず、不安な面もありましたが、おいしそうに食べているのを見て、私も自然と笑顔になりました。ミルクをあげるときは姿勢も気にかけるながら飲ませてあげないと飲んでくれなかったり、泣き出してしまったりして困惑する場面もありましたが、全て飲んだときに眠たそうにしている、とてもかわいかったです。

職員の方々は手慣れた様子で子供たちのお世話をしている、私もこのように

したら笑ってくれるかなど考えながら過ごしました。遊んでいるときや抱いているときも、一人一人個性があって、ボールに興味を持っている子もいるし、抱かれていますのが落ち着いている子もいました。それぞれの部屋にも工夫がされていて、たとえば戸の鍵が上の方に付いてあって子供たちが簡単に開けられないようになっていました。様々なことがとても良い勉強になりました。

私は、将来は小さな子と関わる仕事に就きたいと思っているので、乳児院での体験を生かしていきたいと思っています。

